【意見の概要とそれに対する市の考え方】

No	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	庭園も構想に入っているが、メンテナンスコストがかかる庭園は必要なし。そのスペースを雪置場として利用し災害時の避難場所としても活用したほうが有効。	庭園等については、外部から遮蔽や会葬者を和ませる等の目的がありますので、必要な施設要素として考えております。そのうえで極力コスト削減が図られるよう検討してまいります。
2	願文院を参考にして欲しい。	願文院など近隣の火葬場の施設規模の考え方や設備内容等については十分に参考にさせていただきます。
3	不測の事態に備え村上市の行政組織から近い旧村上市地区に作るのが望ましい。	建設用地の選定条件については、利用者の利便性を考慮し、移動距離（時間）が長くなる地域への影響を最小限に抑えるため、市の中央拠点地域付近で、高速道路のインターチェンジや国道等からのアクセスが良好な場所としております。
4	既存する施設の拡大改装により利用を存続する方法は検討困難か。改築増築の方が費用と期間が少なくて済むのではないか。既存の火葬場にある地域での建設であれば、長年それを受け入れていることから、新たな風評被害トラブルにつながることは考えにくく、スムーズに手続きが進む。	現在の火葬場については老朽化が進んでいることからも、増改築は行わず、新設での整備が必要であると考えております。なお、既存の火葬場の用地についても、候補地の一つとして検討してまいります。
5	設計と建設には、地元の企業を優先する仕組みが選択可能でしょうか？	炉など特殊な設備は専門業者となりますが、可能な限り地元企業で対応できるよう進めてまいります。
6	PPP、PFI 方式はどのようなものを取り入れるか。	PPP については、PFI をはじめ多くの手法がありますが、最も有効な方法を検討事項としています。なお、構想案中に「PPP/PFI」の表記がありますが、「PFI」は「PPP」の一つの方式であるため「PPP」の標記に修正いたします。
7	PFI にて設置した場合、現行の火葬料金の変更は検討されているのか。	火葬使用料については、PFI など施設の運営方法に関わらず、本市の社会情勢を鑑み決定することとしています。
8	PFI、PEI 事業体での建設または現在の炉構造の国指針への対応のためにも早期建設を。	基本構想のはじめに記載しておりますが施設の再整備については早急に進めることとしております。
9	PFI とした場合についての建設費及び事業運営費の予算総額はいくらになりますでしょうか？また PFI 事業者との契約は何か年で考えているか。	建設費及び事業運営費については運営方法の手法により変わることから現在算出しておりません。

10	PFI 方式にて PFI 事業者と随意契約とするなら雇用の安定につながるとのお考えでしょうか。	運営手法に関わらず地元の雇用につながるものと考えております。
11	跡地の再利用についてうまくできていない現状がある。火葬場に関しても跡地を作るだけでは村上市全体のイメージがどんどん低下するのでは。	既存施設については、新しい火葬場用地の候補地の一つと位置付けています。また跡地の有効利用についても、引き続き検討をしてまいります。
12	火葬場には深夜に肝試し等想定外の不審者が現れるリスクがある。新しい地域に火葬場を作ることにより治安の悪化につながる。防犯の観点から人目が多少なりともある場所が望ましい。	不審者への防犯対応としましては、現在警備会社による施設警備を行っておりますが、現状の体制で、候補地の検討をしてまいります。
13	火葬場でのお葬式（儀式・会食）が執り行える考えはあるか。引受人がいないと行政で火葬となるが直接安置できる施設があれば費用軽減にもつながり、市民が火葬場にてお葬式ができるのであれば施設利用料収入が見込まれる。	市内の民間式場の状況も考慮しながら、検討してまいります。